



# 南陽中コミスクだより

第1号

令和7年7月発行 発行責任者：CSディレクター

第一回学校運営協議会を5月29日（木）に開催しました。熟議の内容を一部ご紹介します。

今回の熟議のテーマ

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 学校基本方針を受けての支援策の具体化
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について



協議内容

## (1) 学校運営の基本方針



### ◇グランドデザイン

- ・昨年度からの変更点：浜松市の教育理念「描く夢や未来を実現」  
→今までの内容が、よりコンパクトになった印象。主体性、多様性、信頼・協働、からの発展。
- ・本校の教育目標は昨年と同じ「夢と希望に向かって、共に自立できる生徒」  
→その時々々の生徒に合った教育を展開。
- ・地域に愛され79年。来年はいよいよ80周年！

### ◇経営方針案

- ・生徒・保護者・職員・地域 の関係を大切にしていきたい。



#### 生徒

- ・教育は人と人との関係。  
教員は、まず生徒との関係を大事にする
- ・子供に対して丁寧な対応

#### 地域

- ・自治会と地域を通しての行事に参加
- ・あいさつ…まずは学校へ来てくださる方へ

#### 保護者

- ・保護者との連携が大事
- ・子供を通しての信頼関係が第一
- ・連絡や相談で保護者と思いを共有し一緒に考えていく

#### 職員

- ・教職員がまず元気なあいさつ
- ・個の力を大きな力に
- ・教育のプロとしての自覚
- ・生徒・職員・地域 を伸ばしていく授業力

- ・ 家庭訪問：生徒理解、家庭理解をして1年間を過ごすための大事なスタート。  
保護者と連絡を密にするための絆にもつながる。



- ・ 生徒が安心して生活、夢をもち、頑張れる学校

- ・ 生徒との信頼関係構築
- ・ 授業が基本。感動体験には教師の仕込みが大事。
- ・ 好きにさせる教育、自分の得意をより伸ばしていくことに力を入れていく。

- ・ 職員の研修

- ・ 今年度の研修主題：「生徒一人一人の特性に応じた個別最適な学び」  
→一斉授業の中に、タブレット端末などICTを活用した個別最適な学びを取り入れていく。
- ・ 「聞く」ことが大事。聞くことができると生徒の様子が大きく変わってくるかもしれない。



- ・ 凡事徹底、あたり前10か条 (あいさつ、思いやり、人の気持ちを考える、人の話は耳と目と心で聞くなど。)

この10か条が基となっていて、子供たちがちょっとおかしいなと思ったときに、ここに立ち返って自身を振り返ることができることが、本校の強み。

- ・ 生徒の学びに寄り添う（指導）

- ・ 昔は、教員が「先導者」として、子供たちに「ついて来い」という感じだったが、今は「伴走者」として、「共に一緒に歩いていく」というスタイル。
- ・ だめなものはだめだと、教えていく最後の機会。

- ・ 人の思いが繋がっていくことが大事 = “ワンリング南陽”



- ・ 教師も生徒も「出会えてよかった。」

「出会い」は、人と物と事の3つ。入学式、着任式、修学旅行、野外活動でも子供たちに伝え、大事にしていきたい。

- ・ 職員が元気にやっているところが、一番の強み。

先生方、保護者との連絡も非常に密で、子供たちのつばさなものを拾えるということが続けていきたい。

## ◇いじめ防止基本方針について

- ・ 昨年度からの継続事案は2件、うち1件解消。
- ・ 本年度新たに認知した事案は、今のところなし。
- ・ 本校職員は、日頃の生徒の観察、情報共有をしっかりとっている。引き続き一丸となってやっていく。
- ・ 1学期は5月に生活実態調査のアンケートを生徒に行った。気になる件は、学年の先生が聞き取っていく。

いじめ防止基本方針はホームページにも載せていますのでご覧ください。

学校の説明を受けて委員の方々の熟議の内容の一部をご紹介します。

今年度の先生方の年齢構成はどうでしょうか？



今年も 30 代 40 代の先生が多く、  
40 代 50 代の先生が学年主任を務めています。



30 代、40 代の先生が厚いというのはありがたいです。  
先ほど授業を見させていただきましたが、本当に落ち着いており、  
みんな一生懸命勉強をしています。下駄箱も整理整頓され、落ち着いた  
学校という印象です。先生方は一生懸命されていると思いました。



今日の授業を見て、先生方の声の張りがよく、後ろの方もよく伝わってくる授業をされて  
いました。技術の先生が準備を大変丁寧にされて、ペットボトルを使って種をまくことに  
子供達もわくわくしている様子でした。音楽の授業で黒板にめあてが書かれ、テレビを  
使って音を聞かせながら、わかりやすくお話されて、子供たちもうなずきながら話を聞く  
姿がとてもよかったです。校内研修も楽しみです。



今年度の先生方の研修主題は、「生徒一人一人の特性に応じた個別最適な学び」です。  
本校は生徒理解のもとにその子の特性を感じながら、授業の指導方法を考えましょう、  
タブレットなどの ICT を活用した個別最適な学びを取り入れていきたいと思います、  
やっていきます。



高校の校長先生から、今の子どもたちは夢がなく、進路希望では漠然と大学や専門学校になっ  
てしまうので、夢や希望をもって来てくれると高校入学時に勉強に意欲が出るとお聞きしました。  
中学での職業体験、外部講師のお話などで多くの職業を知ることが大切だと感じました。



職場体験の行き先につがえないか、以前お話がありました、今はどうでしょうか。



子供が自分の足で行ける範囲を考えると、地域だけでは希望の全ての職種は収まり  
きらないので、遠い所もあります。コロナの時ほどの影響はないけれども職場関係者以外  
敬遠される様子もあります。新たに開発できればありがたいです。  
未来授業という講座では、いろいろな職業の講師がいきいきと夢や仕事での苦勞などを語  
ってくれます。子供達も前のめりになって話を聞いてくれています。  
未来授業を併用しながら自分の夢を見つけてほしいと考えています。



方針案の中で、対応で学校側の配慮不足が原因と書いてありますが、  
先生が苦勞をされながら、生徒たちと向かいあっている様子を保護者に伝えることができ  
ると、お互いの理解ができると思います。お互いの気付きになるような活動ができるといいです。



協議の結果、全員意義なく学校運営基本方針を拍手で承認しました。

## (2) 学校運営の基本方針を受けての支援策の具体化について



本校の生徒は自己肯定感をもっていますが、それを外にあまり上手に出せていないところがあります。自分の思いを伝えることが上手でないと、相手に誤解され人間関係がこじれることもあります。何かできる手立てはないでしょうか？本校の行事で、PTAや保護者の関わり、地域の方の関わりなど、一緒になってできることがありますか？例えば体育大会、合唱コンクールなどについては、保護者の方はどうでしょうか？

体育大会には保護者はたくさん来ます。特に午後の応援合戦は多いです。



委員

学校に来て親同士が話す機会が増えるとよいと思います。  
子供も思春期でコミュニケーションがとれないけれど、体育大会では子供の応援席へ行けないので、親同士話をしながら過ごす方も多いです。  
合唱コンクールは席の入れ替えがあり、参観会は親同士の会話も少なくなるので、学校に来られる機会、行事が増えればと思います。働いている方が多いですが、平日でもいらっしゃるので親同士話したり近況報告したりする場、大事な時間になっていると思います。



委員

小学校の時もPTA会長をしていました。小学校では夫婦での参加が多いのに対し、中学校では保護者の参加が減ると聞いていました。小学校の時より減ってはいますがこの地域は父親も参加する方が多くいます。サッカー、野球、バスケ、吹奏楽も盛んで、保護者が参加することが根付いている地域なのかなと思います。



委員

地域の納涼祭は昨年中止になりました。地域のふれあいの場で発表の場でもあります。吹奏楽部や鼓星が演奏しました。地域で発表の場をもつことは、子供たちにもとてもよいし、この地域は吹奏楽がとても上手で地域の方の関心も高いです。そういうことがいろんな事情でやれないようでさみしい感じがします。大人の都合でなくなってしまうのは、子供たちにとってよくないと思います。我々の地区ではそういうことがないように、子供たちが加わるように維持してあげたいです。



委員

地域ボランティアの参加と地域の交流は、具体的にどういうことをイメージしていますか？



地域ボランティアは、芳川クリーン作戦が年2回あり、多くの子供たちが参加しています。協働センター祭りのボランティアの募集にも数名が参加しています。市から、サマーショートボランティアの案内も来るので参加しています。図書館ボランティアは数名が参加し、参加すると修了証をいただいています。





地域の避難訓練の時に、参加した生徒から短い時間ですがハンコを押してくださいと言われて押印しました。地域の避難訓練に参加してくれるということが、地元としてはいいことです。



委員

僕は安松町で凧揚げ会をやっており今年40周年です。鼓星さんにイベントでの演奏をこちらからお願いしました。町のイベントで鼓星さんなどの学校の部活動に演奏してもらおうというアイデアが、知らないで全然出てこないです。「演奏やりますよ」などをどちらかが知っていればできると思います。そのうまいやり方があればいいなと思います。納涼祭はどうでしょうか。



委員

運営の方で携わっておりますが、この前の会合で中止になったと話がされました。



委員



神社の夏祭りは、やるみたいです。



委員

そういう所でふれあいや、つながりができるといいですね



委員

### (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

学校運営の基本方針を具現化するための意見書が了承されました。

資金は、以下の2つの事業の講師への謝礼として使われます。

#### ① キャリア教育



#### ② 地域との交流活動



### (4) 委員のご紹介（6名）

【会長】 増田 哲也…元PTA会長（令和4年度）

【委員】 加藤 裕之…民生児童委員・元校長

鈴木 和枝…元校長・南陽中OG

増田 亜美…元PTA会員（令和3年度）

【学校支援コーディネーター 兼務】 赤星 順子…元PTA会長（令和5年度）

岡田 真澄…現PTA会長（令和7年度）



よろしく  
お願いします

#### 学校運営協議会 開催日程

第2回 令和7年10月15日(水)午後

第3回 令和8年2月6日(金)午後

当日の会議内容はホームページに公開  
されます。ぜひご覧ください。





1学期のキャリア教育や、地域との交流活動を紹介します♪

### 革工芸体験 5月29日(木) (※しおさい学級対象)



有限会社 浜松クラフトさんにお越しいただき、しおさい学級の生徒たちが、革工芸の作業学習をしました。専用の台に革を載せ、ハンマーを使って刻印をし、色付けしました。キーホルダーなどの革製品が完成しました。



←完成したキーホルダー

### 進路講話 6月18日(水) (※3年生対象)



5・6校時に、浜松江之島高等学校と浜松修学舎高等学校、各2名の講師にお越しいただきました。

生徒たちは、各校50分間の講話を聞き、質疑応答の時間も設けていただきました。高等学校の学習内容や特色を知り、進路選択の参考にすることができたと思います。高校生の様子や必要な心構えを聞きながら、受験に向けての姿勢や態度を養いました。

### 進路講話 6月30日(月) (※しおさい学級2、3年生対象)



5校時に、静岡県立浜松特別支援学校の先生に、お越しいただきました。生徒たちは、新設される特別支援学校の特色や、学習や実習の様子、入学までの流れ、支援学校卒業後の進路について等、お話を聞くことができました。

### 大凧づくり 7月、8月 全5回 (※希望者対象)

400年余の歴史をもつ「浜松まつり」に係る大凧づくりの技と文化を、次代を担う中学生に引き継ぐ機会として、本年度も大凧づくりを実施します。

地域の凧揚げ会「糸友会」の皆さんにご指導・ご協力をいただきます。

11月中旬(日)に予定されている全国凧揚げ浜松大会に南陽組として参加する予定です。

#### — 活動予定 —

- 7月27日(日) 発足式・凧解体・骨組み
- 8月 3日(日) 骨組み
- 8月10日(日) 骨組み・紙貼り
- 8月17日(日) 下絵書き・蠟引き・色付け
- 8月24日(日) 糸目付
- 9月 7日(日) 予備日



<昨年度の大凧>